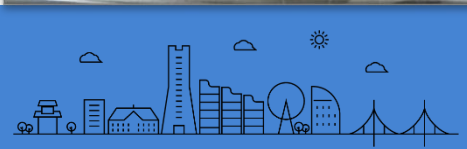


社会福祉法人 横浜白光会



EPA介護福祉士
候補者の受け入れ
について

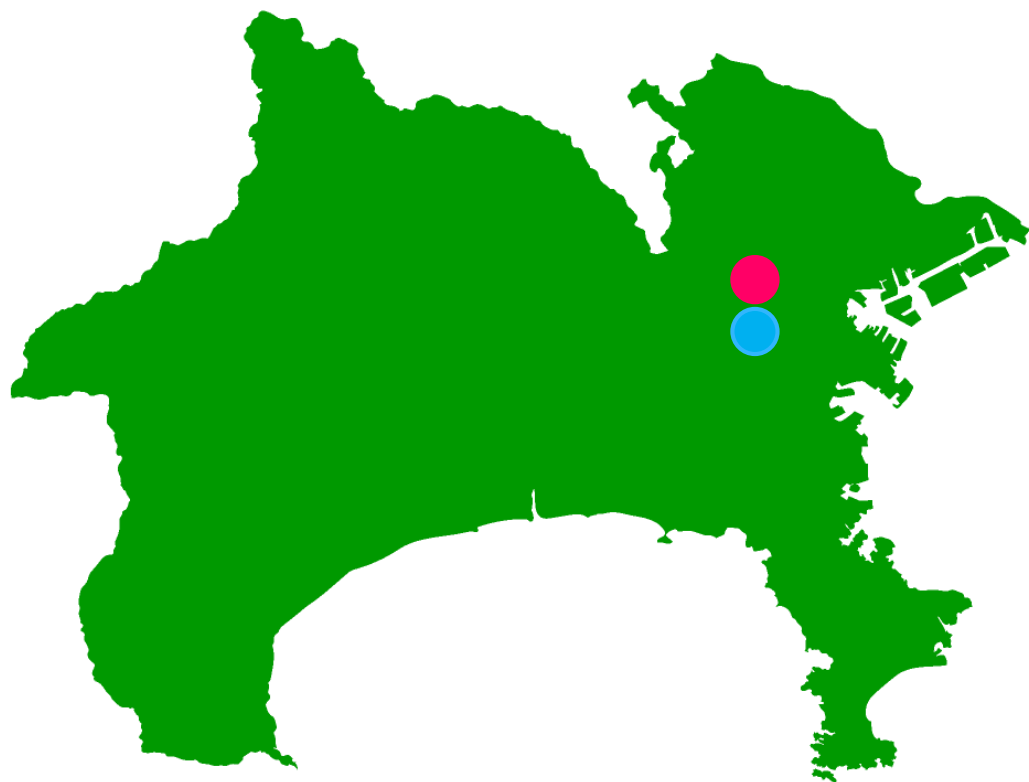


2020.4.3 / 2020.4.7

法人概要

2

- 法人名：社会福祉法人 横浜白光会
- 設立：1998/5
- 理事長：矢部徹
- 施設数：2
 - 特養 今井の郷
 - 特養 美立の杜
- 職員数：142



施設概要

3

- 施設名：特別養護老人ホーム 今井の郷
- 開設：1998/5
- 施設内容
 - ▣ 介護老人福祉施設 102名
 - ▣ 短期入所生活介護 18名
 - ▣ 通所介護 18名
 - ▣ 居宅介護支援事業
- 職員数：75名
- EPA在籍数(3/1現在)
 - ▣ 介護福祉士候補者：10名



施設概要

4

- 施設名：特別養護老人ホーム 美立の杜
- 開設：2007/5
- 施設内容
 - 介護老人福祉施設 75名
 - 短期入所生活介護 5名
 - ユニット型施設
- 職員数：67名
- EPA在籍数(3/1現在)
 - 介護福祉士候補者：14名
 - 介護福祉士：4名



EPA受け入れ実績

5

年度	今井の郷	美立の杜
2010年度	-	2名
2011年度	-	-
2012年度	-	2名
2013年度	-	4名
2014年度	-	4名
2015年度	-	3名
2016年度	-	5名
2017年度	3名	4名
2018年度	4名	3名
2019年度	4名	2名
合計	40名（男性17名、女性23名）	

EPA合格実績

6

□ 介護福祉士

2010～2016年度来日

受験者数	合格	不合格(帰国)	結果待ち
20名	11名	4名	5名

□ 日本語能力試験

2010～2018年度来日

N2合格	N1合格
12名	2名

EPA受け入れ理由

7

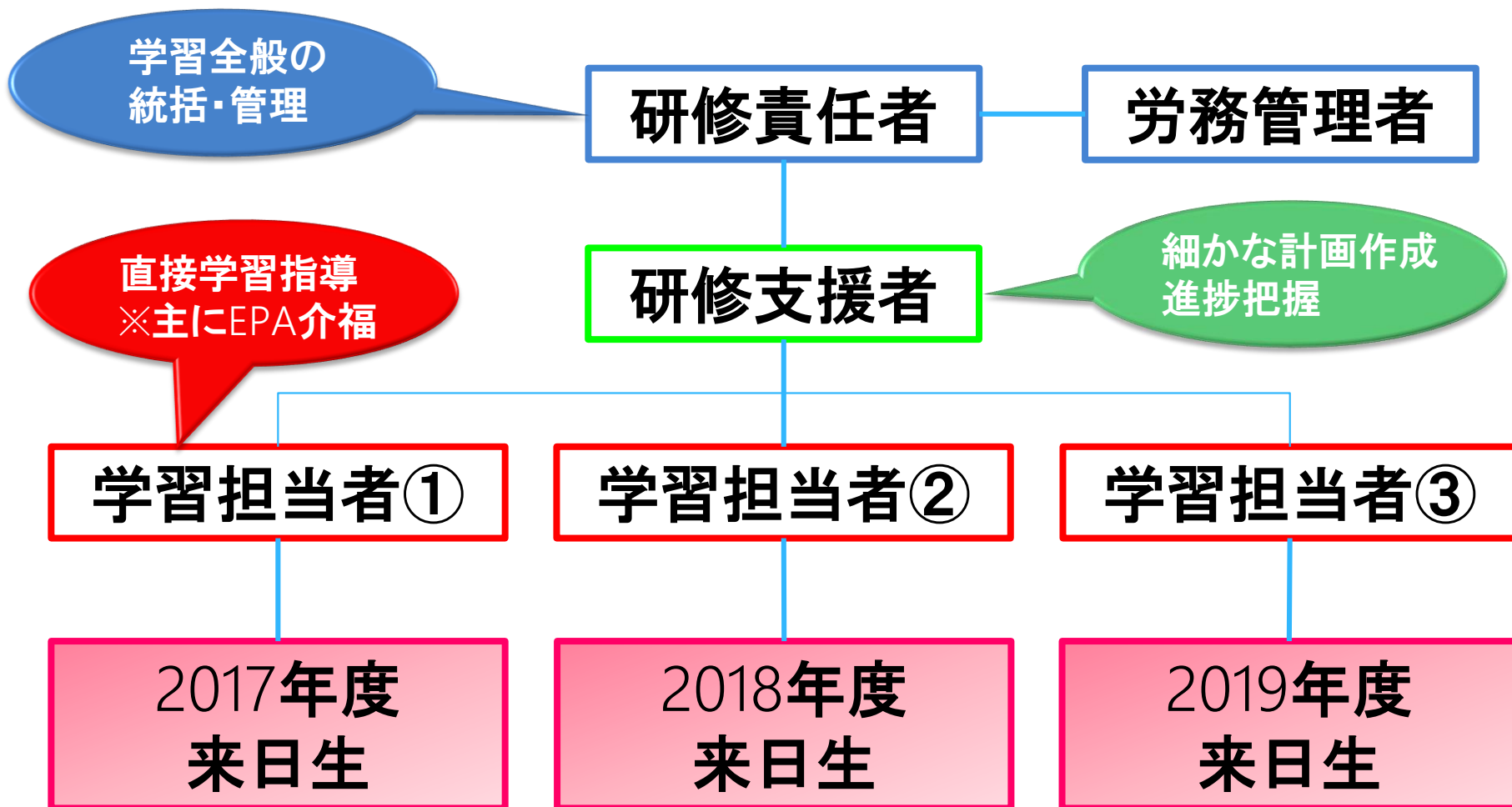
- ①国際交流（社会貢献）
- ②職場へ新しい風を取り入れ
- ③人材難を見据えた人材育成



入職当初は日本語や文化の違いなどから、かなり負担があり、今後の受け入れに躊躇していたが、ある程度スキルが上がったところで、EPA介護福祉士候補者の人柄の良さや、勤勉さ、職場への順応性などが見られた。

受け入れ体制①

8



受け入れ体制②

9

- プリセプター制度による育成指導
 - 国家試験受験まで、1人の先輩職員が育成担当者として教育計画の作成～指導・改善までを行う
- EPA連絡会の開催
 - 毎月EPAに関する議題について、法人全体で話し合いを行い、細かな課題から法人の方針までを検討
- EPAリーダー（寮長）の配置
 - 生活全般に関する相談や、部屋のチェックを行う

住宅支援(近隣マンションの借上げ)

10

・マンション概観



・室内写真



- ルームシェア (2～3人)
- 家具・家電付
- 家賃 法人規定に従う
- 光熱費他実費
- 徒歩5分圏内

学習支援 ①学習計画

11

1年目

- ・介護基礎知識の学習
- ・日本語基礎能力向上 N2受験

2年目

- ・介護技術の向上
- ・日本語能力の向上

3年目

- ・介護福祉士合格に向けた学習・演習

学習支援

②指導体制

12

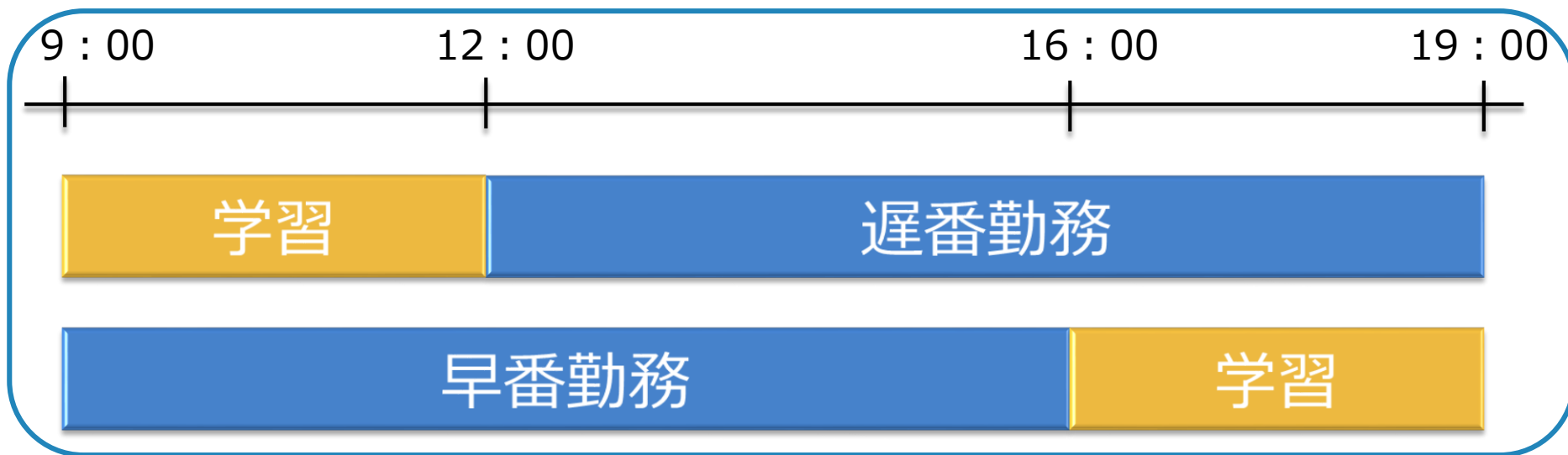
	日本語	受験対策	業務
指導担当	・研修支援者 ・現場職員	・学習担当者 ・研修支援者・責任者 ・外部派遣講師	・育成担当者 ・現場マネージャー
就労 1年目	・週1回 3時間 ・業務記録 ・日常会話	・週1回 3時間 ・JICWELSテキストに沿って授業形式の学習	・介護基礎技術の指導 ・ユニットケアについて学ぶ
就労 2年目	・N2取得に向けた自己学習 ・企画書、報告書の作成	・週1回 3時間 ・JICWELSテキストに沿って授業形式の学習	・居室担当として、ケアプランのチェックや、利用者1人1人の把握を行う
就労 3年目	・N2、N1取得に向けた自己学習	・週1～2回 3時間 - 外部の派遣講師による授業形式の学習 ・介護技術講習会の受講 ・模擬試験の受験	・委員会や会議への参加 ・居室担当としての業務拡大

学習支援 ③学習内容

13

□ 施設内学習

□ 勤務時間外の学習(残業手当として付与)



□ 施設外学習 (専門学校)

□ 公休日に登校

□ 多職種研修

□ 医務、栄養、機能訓練

学習支援 ④1週間のスケジュール

14

□ 入職2年目2月のスケジュール

	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
月	早出																	
火	遅出																	
水	公休																	
木	早出																	
金	日勤																	
土	遅出																	
日	公休																	

□ 1週間の平均学習時間

■ 施設：3時間

■ 自宅：14時間

勉強(自宅)

勉強(施設)

仕事(実務)

自由時間

評価・処遇の明確化

15

- EPA介護福祉士候補者用の評価基準を作成
 - 学習評価、勤務評価、スキル評価…
- 現状の介護スキルと、不足している部分を明確にできる評価アセスメントを作成
 - 日常生活支援分野を網羅
- 日本語能力による基本給アップ制度の取り入れ
 - N2⇒〇〇円基本給UP、N1△△円基本給UP

その他取り組み

16

□ 生活リハビリ研修

- 学習で学んだものと介護の実践をつなげる場
- 各自テーマと目標を決めて研究を行う
- まとめた資料を発表

・介護研究発表会



・かながわ高齢者福祉研究大会



介護業務以外の取り組みへの参加①

17

▣ 研修・訓練



▣ 外出レク



▣ 親睦会



▣ 文化交流



介護業務以外の取り組みへの参加②

18

■ 後輩EPAへの学習サポート



■ 後輩EPAの生活支援



国家試験後のフォロー①

19

- 合格者は契約内容を変更して更新
 - 基本給・手当をUP(日本人介護福祉士と同等)
 - 日本語能力試験の結果に応じて更に給与UP

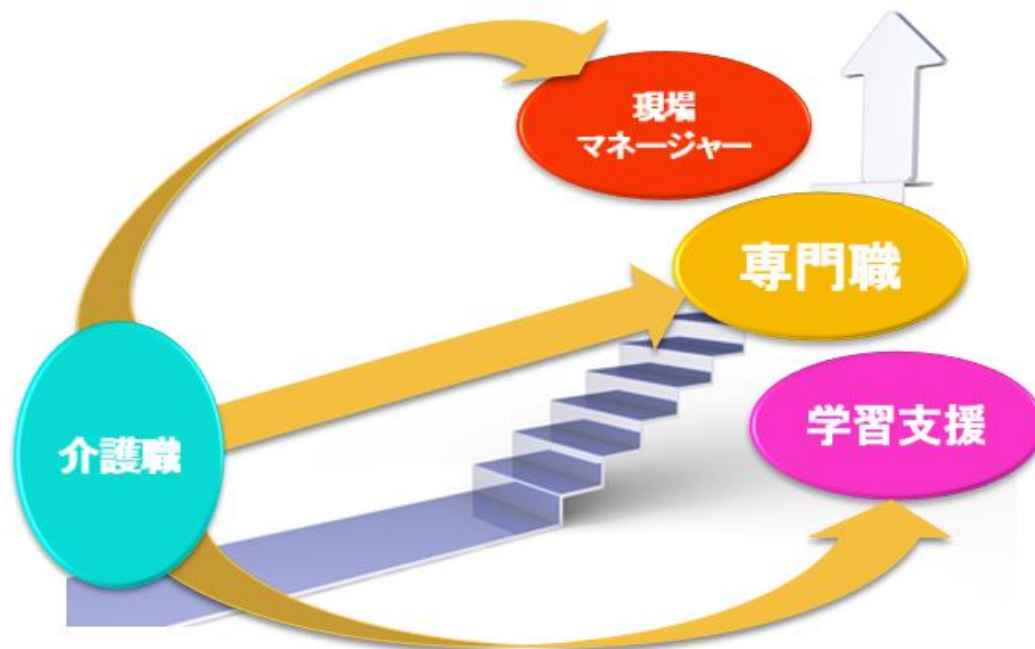
- ビザ更新後の生活を相談
 - 結婚？ 引越し？ 家族来日？ 帰国？ 本人の希望は？

- 不合格者についても再チャレンジを推奨
 - 学習内容・方法は本人の意思を尊重して計画

国家試験後のフォロー②

20

- 本人希望のキャリアアップを検討
 - ▣ 介護福祉士取得後、何を目指していきたいか
 - ▣ いつまで日本に？ 帰国後は？ 人生プランについて考える



注意点①

～来日～受験～

21

- 法人ルールと宗教
 - 法人で禁止としている事は明確にし、面接時に確認
- 生活習慣
 - 日本の生活習慣に慣れるまでは時間がかかる
- 一時帰国
 - 帰国の時期が集中することも。前持って調整が必要
- EPA国内ネットワーク
 - 他の施設の情報は簡単に入手でき、何でも比較
- 体調不良者が多い季節も
- 手続き系が多い

注意点② ～国家試験後～

22

□ 国内転職

- EPA同士での結婚が多いため、国家試験後はどちらかの施設へ行ってしまう
- EPAネットワークを使い、少しでも条件の良い施設へ

□ 帰国

- 合格不合格問わず帰国も
- その後の再入国・再雇用のケースもあり

良かった点

23

- 向上心のある候補者が多い
 - 明るく意欲を持って働いてくれる
- 職員高齢化の中に活気が生まれる
- 利用者との接し方がどんどん上手になっていく
- シフトに対して協力的
 - 緊急時や災害時にも協力的

今後の課題

24

- 国家試験後の職場定着
- 候補生のモチベーション管理
 - 学習への意欲の低下
 - 自己学習時間の減少
- 法人規則の理解
 - 他施設の情報入手している中で、当法人の制度を理解・納得しながら働いてもらう

参考① ～働く様子～

25



参考② ～施設内イベント～

26



ご清聴ありがとうございました

27

